



3月に進級して、気づけば夏！！あっという間に3か月が過ぎました。

第一期も後半に差し掛かっていますが、一期は本当に子どもたちの成長が著しい毎日でした。

生活面も、食事面も、睡眠も、遊びも...どれをとっても、大きく成長したな～と感じます。

何より、まず目標にしていた「見通しをもつこと」ですが、園では基本的に「毎日同じことの繰り返し」を意識して過ごしています。

『朝登園する→自由に遊ぶ→お集まり→クラスの活動(運動遊び・戸外遊び等)→食事→午睡』この同じルーティーンをくり返し行うことで、日々の生活習慣が身に付き 先の行動を自ら考えて自主的に動くことができるようになってきます。見通しを持った行動ができるようになったことで、子ども達は心も身体も安定してきました。



《自ら考える力》

幼児期の終わりまでに育ててほしい「10の姿」という指針が、保育所保育指針の中にあります。

「健康な心と体」「自立心」「共同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「量・図形・文学等への関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」という10項目が挙げられています。

この10の姿を育むために、まず自ら考える力が必要になります。見通しを持てるようになり、自分で考えることができるようになってくることで、上記の姿への成長に繋がっていきます。

もちろんまだまだ発達途上真っ只中の子どもたち...

日々、保育園で生活する中で、友達と関わったり、大人と関わったり、自然に触れたり、いろいろな刺激を受けています。

その中で、つまずいたり、壁にぶつかるなんてことはいくらでもあります。大人だってありますよね(^_^;)

子ども達が何らかの困り感を感じた時、壁にぶつかった時、つまずいた時...そんな時は大人が手助けをしますが、乳児クラスの頃のように全面的に助けるということはしておらず、子どもと一緒にどうしたら良いかを考えるようにしています。

子どもが自分で考えてみる、気持ちを言葉にしてみる、話し合いをしてみる等、可能な限り子ども達に任せるようにしています。

考えることを習慣化することで「あ！次はお集まりだ！お集まりが終わったらお外で遊ぶんだ。片付けよう」「今は、僕が(私が)、こうしたから〇〇ちゃんは嫌な気持ちになったんだ。ごめんね」「僕は(私は)、〇〇だから、悲しい気持ち」といったように、嬉しいことも悲しい事も楽しい事も、子ども達は全身で感じながら成長していきます。

今のうみ組さんからじ組さんにかけて、素敵な10の姿になっていけることでしよう(*´艸`)